

第4期（2019年度）事業報告

1. 法人運営

2019年度の活動

日程	活動内容	場所
4月	27日 清水沢まちあるき	清水沢地区
5月	1日 JR新夕張駅展覧会「新夕張駅の掘り出し物展」	JR新夕張駅
	11日 宮前町イルミネーション撤収	集会所
	13日～10月31日 清水沢アートパワープラント	旧発電所
	19日 宮前町お祭り	宮前町
	24日 こども食堂	コミュニティゲート
	26日 清水沢まちあるき（日曜開催）	清水沢地区
	28日・29日 横須賀高校研修旅行スーパーパロ湖カヌーガイド、ディスカッション	スーパーパロ湖、清水沢ズリ山
6月	8日 清水沢小学校校庭木お別れ会	旧清水沢小学校
	15日 無印良品ツアーズリ山ガイド	清水沢ズリ山
	15日 定時社員総会	コミュニティゲート
	28日 こども食堂	コミュニティゲート
	23日 清水沢まちあるき	清水沢地区
7月	6日 ズリ山草刈り	ズリ山
	12日 こども食堂	コミュニティゲート
	21日 一般滞在利用	コミュニティゲート
	18日～20日 桑原真理子さん滞在、18日イベント（三津）	コミュニティゲート
	27日 清水沢まちあるき（50回）	清水沢地区
	28日 ズリ山整備、さつき町内会園遊会	清水沢ズリ山
	29日～8月26日 シニアフォトキャラバン滞在	コミュニティゲート
8月	3日 戦争体験冊子イベント	コミュニティゲート
	23日 こども食堂	コミュニティゲート
	24日 清水沢まちあるき	清水沢地区
	24日 こども写真コンテスト審査会	コミュニティゲート
	28日 札幌市立大学フィールドワーク	旧発電所・ズリ山
9月	1日～5日 松本力さん・永岡大輔さん滞在サポート	共生型ファーム
	6日 法政大学宮崎ゼミ対応	コミュニティゲート
	10日 法政大学杉崎ゼミ対応	コミュニティゲート
	13日 こども食堂	コミュニティゲート
	15日 汽車フェスタ（共催）	旧南大夕張駅跡

日程	活動内容	場所
	27日 こども写真コンテスト表彰式	コミュニティゲート
	28日 清水沢まちあるき	清水沢地区
10月	6日 清水沢コミュニティゲート3周年イベント	集会所・コミュニティゲート
	19日 北海道建築士会フィールドワーク対応	コミュニティゲート
	20日 東京夕張会	東京
	24日 森の輪贈呈式	保健センター
	26日 清水沢まちあるき	清水沢地区
	28日～29日 韓国太白市から視察（11月6日も）	コミュニティゲート
	29日 こども食堂	コミュニティゲート
11月	2日 夕張北高1982年同窓会講師	札幌
	8～9日 庄子喜隆さん写真展、朝日エコミュージアム視察	東北
	13日 北海道NPOサポートセンター講演	札幌
	23日 清水沢まちあるき	清水沢地区
	24日 宮前町イルミネーション設営	コミュニティゲート
	29日 こども食堂	コミュニティゲート
12月	14日 清水沢ウォーク（夕張市観光プロモーション）	清水沢地区
	20日 こども忘年会・イルミネーション点灯式	コミュニティゲート
	28日 清水沢まちあるき	清水沢地区
1月	13日・14日新年行事	集会所
	18日～30日 夕張の風景こども写真コンテスト展覧会・版画贈呈式 レズリーメイボンさん滞在、レクチャートーク	南支所
	25日 清水沢まちあるき	清水沢地区
	30日 こどもお掃除会（中止）	コミュニティゲート
2月	4日～10日 ピエールエリ・ドゥ・ピブラックさん滞在	コミュニティゲート
	9日 アバディーン版画贈呈式オンライン参加	コミュニティゲート
	10日～3月15日 菊池史子さん滞在	コミュニティゲート
	15日～22日 菊池史子展覧会「忘れない歌」	南支所
	22日 清水沢まちあるき	清水沢地区
	28日 こども食堂（中止）	コミュニティゲート
3月	14日 菊池史子送別会	りすた
	28日 清水沢まちあるき	清水沢地区

本年度は予算よりも約20万円多く経常収益を上げることができました。直接的には助成金と寄付金を予想以上にいただくことができたことが理由ですが、売上金は旧発電所と物販が好調で目標としていた185.5万円にあと5千円まで肉薄し、会費収入は目標には届きませんでしたが大増収

ることができました。会員数は正会員1名、一般会員10名、賛助会員3組増加し、3月31日現在正会員12名、一般会員25名、賛助会員4組、合計41名・社・団体となっています。

経常費用についてはやや見積もりが甘く20万円超過してしまいました。それでも手元資金の状況から、車両費（ガソリン代）や支払手数料（Adobeライセンス）などの法人負担を一部代表理事が肩代わりしている状態です。赤字を最小限にとどめ、財産増加額は△3.7万円となりました。

交際費について、残念ながら大変お世話になった方が亡くなる時期を迎えており、本年度は慶弔規定を設けました。会員以外の死亡弔慰金についても、関係者2,000円、特に重要な協力者には5,000円を支出することにしました。

通信費はドコモの月々割がなくなったこともあり負担が増えていましたが、3月よりプランの見直しを行い、今後は年間で2万円ほど安くなる見込みです。一方で電話番号をもう1つ付加し、FAX専用番号0123-57-7467を設定しました（月100円）

税理士との顧問契約をやめ、決算のみとしたため、月々の支払いは低減しました。税の申告に関連して、これまで法人税の申告期限が5月31日に対し、当法人の社員総会は6月に開催しているため、申告後に社員総会で決算の承認を諮るという逆転現象が発生していました。これを解消するため申告期限の延長の特例の申請を行ったので、来期から5月末日に法人税を見込み納付し、社員総会で決算承認を頂いた後に確定申告を行うという流れになります。

夕張市黄色いハンカチ基金助成として、数件の用途指定寄付（28万6千円）をいただき、清水沢コミュニティゲートの運営に使いました。また、同じく黄色いハンカチ基金から後述する「清水沢小学校を記憶する～ハルニレを通して未来へつなぐ」でも12万円の助成金をいただき、事業を実施しました。また北海道開発協会から45万円の助成をいただき、清水沢エコミュージアムプロジェクトの推進としてパンフレット類や炭鉱遺産の整備作業、公開事業等に使用しました。

各事業の報告

(1) 炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業

旧発電所（清水沢アートパワープラント）

有料化2年目となり、5月13日～10月31日の期間中、見学172回、団体9回、600名ほどの来場者があり、ガイド2名（加えて数名のお手伝い）で全ての来場者と1対1の対応を行いました。来場者の6割が道外からで、道内の半数が札幌市からの来訪者でした。歴史と価値を正しく伝え、保存活用のあり方を来場者と共に考える場にするという目的は来場者によく伝わり、本年度は基本料金を1,500円に値上げしたにもかかわらず、満足度は5段階評価で満足度5が90%、4が10%、3以下はなしというたいへん高い評価をいただいています。収益自体も向上し、ようやく適正な設定になったと感じています。

個人的な見学コースは最大2倍の値上げとなったお詫びも兼ねて、5時間以上利用する方に、「宮前浴場の入浴券と清水沢プロジェクトオリジナルタオル」のセット（後述）をプレゼントすることとし、61セット提供しました。

ズリ山

7月6日に清栄町さつき町内会に依頼し草刈り作業を行い、その後28日に清水沢プロジェクトメンバーと有志合計7名で整備作業を行いました。今年も東亜建材工業さんからご提供いただいた鉄杭に加えて、NPOあ・りーさださんから丸太資材をいただいたので、階段と鉄杭の入れ替えも行いました。その後清栄町さつき町内会の園遊会に参加し、交流を深めました。

宮前浴場利用増加プロジェクト

住宅の集約事業が終了したため、宮前浴場は10月より週3回営業となりました。それに先立って、地域コミュニティの核である浴場がこれからも地域の中心であり続けられるよう、「宮前浴場利用増加プロジェクト」を開始しました。

先に述べたオリジナルタオルセットを「個人的な撮影コース」の方にプレゼントしたところ、実際に3分の1程度の方が浴場を利用しました。またこのセットは900円で販売も行い、観光の方や大学生のフィールドワークの一環で入浴するなど、これまでにない利用を生み出しました。入浴券の購入は80枚ほどではありますが、わずかながらの増収に貢献できたと思います。

一方で、イベント利用や臨時営業などは、調整が難航し実現しませんでした。市民課や現場の浴場組合に負担をかけない程度に、活用策を探っていきたいと考えています。

JR新夕張駅展覧会

3月に廃止となったJR清水沢駅での展覧会の代替として、新夕張駅での展覧会の開催を駅長に打診したところ快諾いただいたので、5月1日から「新夕張駅の掘り出し物展」を開催しました。その後の展示替えを行えていないので、早急に取り組みたいと思います。

その他の炭鉱遺産・関係箇所

学校関係やシンクタンクの視察、建築士会のフィールドワークの受け入れなどを行いました。個人の観光ガイドや視察アテンドなどは年々減少し、本年度は10件程度でした。発電所見学者からは他の炭鉱遺産のガイドも行ってほしいというご意見が多いため、積極的に打ち出して生きたいと思えます。

石炭博物館との連携は、今年も行うことができませんでした。しかし今後も連携が必要であることは変わらないことから、アプローチを続けていきたいと思えます。

月別ガイド実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数 (件)	0	1	1	2	2	2	1	2	1	0	0	0	12
収入 (円)	0	16000	1620	26200	17120	11500	26400	31900	20000	0	0	0	150,740
前年件数 (件)	0	4	4	3	3	2	3	1	0	1	0	0	21
前年収入 (円)	0	29,740	67,800	42,480	34,000	20,000	30,920	91,800	0	15,120	0	0	331,860

※ガイド/アテンド（収益事業）+研究調査指導料（非営利事業）の合計。発電所のみは含まず。

(2) 地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業

今期は滞在するアーティストが多く、滞在サポートにかかる収入があったので、大幅な収入増となりました。毎月定例で行っている「清水沢まちあるき」は7月に50回を数えました。最近では参加者ゼロの回はなく、ほぼ必ず参加する固定メンバーも数名いらっしゃいます。時々イベント的要素も入れつつ、まちの観察とアーカイブに繋げていきたいと考えます。

みんなでつくる夕張の記憶ミュージアム

多忙につき最小限の活動であるFacebookの更新と毎月の広報うらばり掲載しかできませんでした。各地の夕張会については予算不足により参加を見合わせる予定でしたが、東京夕張会会報への寄稿依頼があり、清水沢プロジェクトの活動の紹介をさせていただきました。せっかく頂いたチャンスということもあり、急遽日帰りで片道の交通費は自費で参加。お一人の方にご入会いただきました。また夕張側に物販の要望があったため、三菱大夕張鉄道保存会カレンダーとmonehouseのTシャツなどの販売を現地で行い、飛行機代以上の収益を上げることができました。

(3) 炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業

夕張市と締結した「清水沢エコミュージアムプロジェクトに係る連携協定」の4年度目となり、「旧宮コ23棟」施設の無償貸与を受け、「清水沢コミュニティゲート」として、運営を行いました。

本年度の滞在は6組、累計の利用日数は約80日に達しました。例年長期滞在して活動するシニアフォトキャラバンと菊池史子さんのほか、7月には2017年に滞在した桑原真理子さんが滞在制作を元に制作した書籍「バーニング・ラブ」を携えて来てくれました。また1月にスコットランドから環境社会学者のレズリー・メイボンさんが「子ども写真コンテスト」表彰式に合わせて訪れ、レクチャートークを行いました。2月にはフランスから写真家のピエールエリ・ドゥ・ピブラックさんが滞在し、市内でロケを行って作品を制作しました。特筆すべきは、1月下旬から3月中旬までほぼ切れ目なく利用があったことです。冬期の利用はコストがかかるものの、ガイド事業などの収入がほぼ途絶える冬

場の収入源として大変貴重です。また夏の繁忙期にはじっくり対応することが難しいため、スケジュール的にも適しています。夕張の本来の姿が見えるのは、厳しくとも温かい冬の姿かもしれません。市民の知恵を借りながら制作活動を行うというスタイルも定着しつつあります。滞在者の居住国はオランダ、韓国、イギリス、フランス、ドイツ、日本と大変国際色豊かです。ほとんどがリピーターで、日本人、あるいは通訳が帯同するなど日本語に不自由しない人々であるため対応に苦慮することはほとんどありませんが、滞在者の活動が地域に受け入れられるための橋渡し役は当法人の重要な役割であるため、これからも研鑽を重ねていきたいと考えます。

10月6日（日）に3周年イベントとして、宮前集会所でこれまで10年の活動報告会とコミュニティゲートで3年分の活動写真の展示を行いました。改装時から現在までに撮影した300枚の写真を、コミュニティゲート内の「写した場所」に展示するものです。夜は「大反省会『これでいいのか清水沢プロジェクト』」として持ち寄り鍋パーティーを行い、これまでの活動を影に日向に支えてくれている夕張市市民課主幹の佐藤学さんとトークを行いました。一日限りのイベントではありましたが、日頃から活動を担うメンバーが活躍し、これまでお世話になった方にお会いできた一日でした。写真を並べて改めて感じたのは、こども食堂も含め、「食べるシーン」が多いことです。それはもともとが炭鉱住宅＝「家」だからかもしれません。この特性を生かした活動にも、今後力を入れていきます。

利用料金については10月から料金見直しを行い、初期料金を4000円から3000円に値下げし、長期滞在しやすい料金体系に変更しました。理由は宮前浴場の営業が週3回になり、不便をかけてしまうからです。同時に成果発表を行うことで利用料を半額にする成果発表割の適用範囲を、全滞在利用者に拡大しました。

水道光熱費については、これまでの実績と「市がやるべきことをやっていたい」という理由で、本年度から浄化槽使用料が減免、8月からは完全免除となりました。これにより年間で12万円もの経費節減につなげることができました。また電気については、冷蔵庫が一つ増えて電気使用量が上がってしまいましたが、北海道電力と新電力会社のプランとを比較し、基本料金がないLoopでんきに12月から切り替えました。

開館は夏場は不定期開館、冬場は月・水・金・土の週4日開館としましたが、観光目的などで立ち寄ってくださるお客様への対応十分に果たせているとは言えません。昨年同様不定期開館であることがコミュニティゲート自体の来訪者を増やす取り組みに本腰を入れられないという悪循環となってしまうっており、一層の工夫が必要です。

コミュニティゲート利用実績（滞在利用・オフィス利用・こども食堂）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数 (件)	1	2	2	4	3	2	3	1	2	2	2	2	26
収入 (円)	0	9,900	9,900	89,820	9,900	9,900	16,550	11,550	13,500	5,000	85,250	1,100	262,370
前年件数 (件)	1	1	2	6	3	1	1	1	1	0	2	3	22
前年収入 (円)	0	3,000	0	51,840	13,000	64,600	0	0	0	0	9,720	55,520	197,680

水道光熱費比較表

2019年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	11,460	7,112	7,004	7,692	8,528	7,463	6,843	6,465	7,219	5,559	6,567	7,477	89,389
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	10,160	10,160	120,080
浄化槽	2,800	2,800	2,800	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	11,200
灯油・ガス	5,264	30,657	4,802	5,554	5,173	6,094	6,187	5,262	5,653	5,939	22,960	5,481	109,026
2018年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電気	9,370	6,563	5,909	6,284	7,861	6,044	6,021	6,064	5,966	9,209	10,472	9,476	89,239
水道	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	9,976	119,712
浄化槽	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	134,400
灯油・ガス	17,138	4,708	5,717	6,022	5,272	8,012	5,846	5,482	5,738	5,191	48,323	5,086	122,535

※12月と1月は電力会社切り替えに当たるため、平均すると6,389円。

(4) (1)～(3)各号に関する活動を目的とした来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業

「ゲート」の門番的機能として、静かな生活地を守るために徹底したゾーニング、観光者を自由に歩かせないなど意識しており、現在は看板設置等を積極的に進めることに慎重になっています。案内付きで回ることを前提としたまちあるきやガイドツアーのPRの方へ舵を切りたいと考えます。

11月に日本のエコミュージアム発祥の地である山形県朝日町を訪問し、朝日町エコミュージアム協会にヒアリングと、ガイドさんに案内していただきました。エコミュージアムの運営や生活との切り分け、刊行物など参考になるものが多く、細かなことでもアーカイブしていく重要性を再認識しました。

(5) 地域活動の活性化支援事業

本年度も町内会事業への参加を行い、クリスマスイルミネーションの設置作業などを行いました。宮前町は町内会に加入し、お祭りとどんど焼き神事にはお賽銭を供えています。清栄町さつき会には、園遊会時に寸志として日本酒の差し入れを行っています。

「こども食堂」（主催／夕張こども食堂実行委員会・共催／一般社団法人清水沢プロジェクト）は三年目となり、子どもたちがこの場を気に入ってくれています。

他団体への参画は、事務局住所を置く三菱大夕張鉄道保存会とユウバリコザクラの会に入会しています。清光園デイサービスセンター すずらんで開催されている「オレンジカフェ（認知症カフェ）」に参加し、夕張の昔の写真を使った脳トレなどに取り組んだりしています。

(6) 地域情報の受発信、物販に関する事業

収益そのものは実質3万円程度ですが、オリジナルタオルやタオルと入浴券とのセット販売、庄子喜隆さん写真集、清水サワーTシャツ等、話題性と意義のあるものの物販を行うことができました。清水沢プロジェクトのポストカードは12月に新作を制作することが定例となり、今回で4種類目となりました。

(8) 地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業

スコットランド・アバディーン市との交流は、メイボン尚子さんの尽力により、アバディーン市からの助成とピーコック・ビジュアル・アーツからの協力をいただき、両地の人々や文脈に寄り添う版画制作プロジェクトを行いました。ゆうばり小学校の児童を対象に「夕張の風景・子ども写真コンテスト」を開催し、1年生から6年生まで合計14名の方にご応募いただきました。美術に造詣が深いメンバーを中心に選考を行い、優秀賞として3作品を選出。アバディーン市で活動する市民活動家のデイビッド・フライヤーさんに選んでもらった結果、3年生の辻和奏さんの作品が最優秀賞となりました。優秀賞の3名にはフライヤーさんの写真も3枚から1枚を選んでもらい、最終的に2人が撮影した写真をピーコック・ビジュアル・アーツで版画化し、本人、両市、ゆうばり小学校などに寄贈を行いました。

(9) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

ハルニレプロジェクト・Yubari WOOD START プロジェクト・森の輪（わっこ）

旧清水沢小学校跡地に認定こども園が建設されることに伴い校庭木が廃棄されることが判明し、校庭木を夕張の未来の子どもたちのために活用するプロジェクトを、会員の武田信仁さんが中心となり進めています。黄色いハンカチ基金から12万円の助成をいただき、6月8日に校庭木のお別れ会を行い、11本を清水沢プロジェクトで伐採し、保管しました。その直後、帯広大谷短期大学の馬場拓也講師から連絡があり、地域にちなんだ木材でつくられた安全な歯固めのおもちゃを乳幼児健診の際に赤ちゃんにプレゼントするという森の輪プロジェクトに参加することになり、清水沢小学校で伐採した夕張市の木であるエゾヤマザクラを提供し、10月と12月の乳幼児健診時にプレゼントを行いました。同時に活動紹介のリーフレットも作成しました。

第4期（2019年度）決算

貸借対照表

(令和 2年3月31日 現在)

一般社団法人清水沢プロジェクト（事業全体）

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	213,206	【 流 動 負 債 】	265,033
現 金 及 び 預 金	211,381	買 掛 金	69,300
仮 払 金	1,825	未 払 金	103,542
		預 り 金	8,932
		役 員 借 入 金	83,259
		負債の部合計	265,033
		正 味 財 産 の 部	
		科 目	金 額
		【 一 般 正 味 財 産 】	△ 51,827
		前 期 正 味 財 産	△ 14,784
		当 期 正 味 財 産 増 加 額	△ 37,043
		正 味 財 産 合 計	△ 51,827
資 産 合 計	213,206	負債・正味財産合計	213,206

正味財産増減計算書（事業全体）

（自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	120,000	
一般会員受取会費	69,000	
賛助会員受取会費	40,000	
受取寄附金	176,300	
受取助成金	856,535	
売上高	1,850,797	
雑収入	22,498	
受取利息収入	2	
経常収益計		3,135,132
経常費用		
仕入高	191,799	
役員報酬	1,104,000	
雑給	110,150	
法定福利費	176,549	
福利厚生費	43,697	
外注費	94,990	
荷造運賃	6,186	
広告宣伝費	128,343	
交際費	47,245	
会議費	34,673	
旅費交通費	41,486	
通信費	209,136	
消耗品費	126,871	
水道光熱費	342,641	
新聞図書費	48,094	
支払手数料	67,495	
諸会費	19,000	
研修費	8,590	
車両費	126,596	
保険料	30,628	
支払報酬料	98,513	
租税公課	10,200	
雑費	25,293	
経常費用計		3,092,175
法人税、住民税及び事業税		80,000
当期正味財産増減額		△37,043
前期繰越正味財産額		△14,784
次期繰越正味財産額		△51,827

正味財産増減計算書（収益事業）

（自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	0	
一般会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
受取寄附金	0	
受取助成金	0	
売上高	1,615,737	
雑収入	0	
受取利息収入	0	
経常収益計		1,615,737
経常費用		
仕入高	191,799	
役員報酬	568,891	
雑給	110,150	
法定福利費	90,976	
福利厚生費	22,517	
外注費	0	
荷造運賃	6,186	
広告宣伝費	65,094	
交際費	23,197	
会議費	10,791	
旅費交通費	28,223	
通信費	155,269	
消耗品費	60,864	
水道光熱費	274,113	
新聞図書費	24,783	
支払手数料	34,837	
諸会費	14,638	
研修費	1,134	
車両費	65,235	
保険料	24,720	
支払報酬料	51,303	
租税公課	5,256	
雑費	14,197	
経常費用計		1,844,174
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		△228,437
前期繰越正味財産額		241,604
次期繰越正味財産額		13,167

正味財産増減計算書（非営利事業）

（自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日）

（単位：円）

科 目	金 額	
経常増減の部		
経常収益		
正会員受取会費	120,000	
一般会員受取会費	69,000	
賛助会員受取会費	40,000	
受取寄附金	176,300	
受取助成金	856,535	
売上高	235,060	
雑収入	22,498	
受取利息収入	2	
経常収益計		1,519,395
経常費用		
仕入高	0	
役員報酬	535,109	
雑給	0	
法定福利費	85,573	
福利厚生費	21,180	
外注費	94,990	
荷造運賃	0	
広告宣伝費	63,249	
交際費	24,048	
会議費	23,882	
旅費交通費	13,263	
通信費	53,867	
消耗品費	66,007	
水道光熱費	68,528	
新聞図書費	23,311	
支払手数料	32,658	
諸会費	4,362	
研修費	7,456	
車両費	61,361	
保険料	5,908	
支払報酬料	47,210	
租税公課	4,944	
雑費	11,096	
経常費用計		1,248,001
法人税、住民税及び事業税		80,000
当期正味財産増減額		191,394
前期繰越正味財産額		△256,388
次期繰越正味財産額		△64,994

2019年度収支決算（部門別内訳）

!019年4月1日から2020年3月31日まで

科目	決算額		内訳								備考	
			1炭鉱遺産の保存・活用・普及啓蒙・学術教育・調査研究に関する事業	2地域資源の価値発見、活用による交流人口の増大に関する事業	3炭鉱遺産・地域資源の価値増大に資する施設等の運営事業	4上記各号に関する活動を実施した来訪者の受け入れ、情報提供、支援に関する事業	5地域活動の活性化支援事業	6地域情報の受発信、物販に関する事業	7喫茶・飲食事業	8地域資源を活用したまちづくりに関するコンサルティング・シンクタンク事業		9前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業
経常増減の部												
経常収益												
正会員受取会費	120,000											120,000
一般会員受取会費	69,000											69,000
賛助会員受取会費	40,000											40,000
受取寄附金	176,300										5,000	171,300
受取助成金	856,535				450,000					120,000		286,535
売上高	1,850,797		1,027,570	110,842	183,220		89,300	224,135	0	215,730		
受取利息	2											2
雑収入	22,498											22,498
経常収益計		3,135,132	1,027,570	110,842	183,220	450,000	89,300	224,135	0	215,730		709,335
経常費用												
仕入高	191,799		42,249					2,500	147,050			
役員報酬	1,104,000											1,104,000
雑給	110,150											110,150
法定福利費	176,549											176,549
福利厚生費	43,697						18,680					25,017
研修費	8,590					6,390						2,200
外注費	94,990				1,030						93,960	
荷造運賃	6,186							6,186				
広告宣伝費	128,343		49,260		16,170		5,929	6,884		15,260	23,400	11,440
交際費	47,245		5,785									41,460
会議費	34,673		3,850	4,100	6,019		1,000		2,290			17,414
旅費交通費	41,486		520	13,730		22,616	1,020		1,000			2,600
通信費	209,136				185,206				9,651		492	13,787
消耗品費	126,871		21,522		26,663		880	728	16,305		324	60,449
修繕費	0											
水道光熱費	342,641				342,641							
新聞図書費	48,094											48,094
諸会費	19,000			10,000		3,000						6,000
支払手数料	67,495		7,654	5,200			2,000	1,353		594	324	50,370
車両費	126,596											126,596
保険料	30,628		800		19,290							10,538
租税公課	10,200											10,200
支払報酬料	98,513		1,113									97,400
雑費	25,293											25,293
経常費用 計		3,092,175	132,753	33,030	597,019	32,006	32,009	162,201	0	45,100		1,939,557
法人税等		80,000										
当期正味財産増減額		△ 37,043										
前期繰越正味財産額		△ 14,784										
次期繰越正味財産額		△ 51,827										

(単位 円)